



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- ドア本体に穴をあけるときは、φ8のドリルで仕上げてください。穴が大きいと鋳物が脱落する原因となります。
- 鋳物をねじで固定する際、1.2~2N・m(12~20kgf・cm)のトルクで締付けてください。締付けがゆるいと鋳物が脱落する原因となり、締付けがきついとウェルナットが破損する原因となります。
- ドア本体に穴をあける際に、ドリルで表面材(室外側)に穴をあけないようにしてください。玄関ドアの性能を損なう原因となります。特に防火戸ドアの場合防火性能を損なう可能性がありますので、絶対に表面材(室外側)に穴をあけないように注意してください。

### ■取付け上のおお願い

- 取付け作業は、ドア本体を水平に寝かせた状態で行ってください。
- 鋳物の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- ドア本体に穴をあける際に、ドリルの先端が表面材(室外側)に達しないように注意してください。表面材(室外側)が変形する原因となります。

### ■梱包明細表

名称	入数	詳細
鋳物	1	右のデザイン一覧
鋳物取付けねじ	4	トラス小ねじM4×32 ただし、13型、14型はM4×30
ウェルナット	4	—
型紙	1	—
取付け説明書	1	—

### ■鋳物デザイン一覧



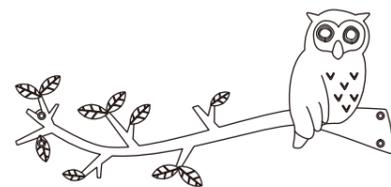
〈11型(唐草)〉



〈12型(ブーケ)〉



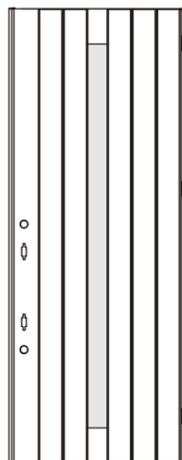
〈13型(ブローチ)〉



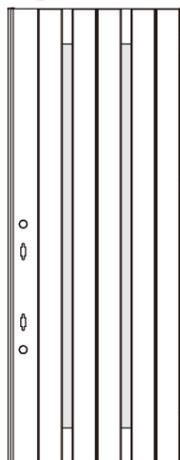
〈14型(フクロウ)〉

### ■玄関ドア ジェスタ及び グランデル に取付ける場合

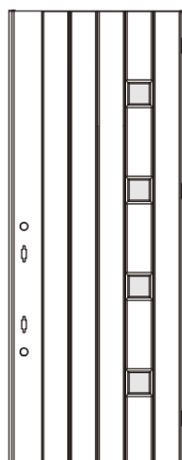
#### 【取付け対象のドアのデザイン一覧】



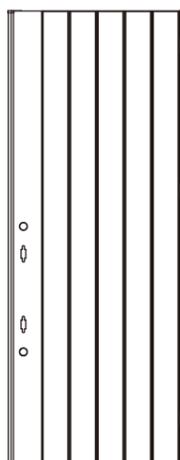
〈本体A〉



〈本体B〉



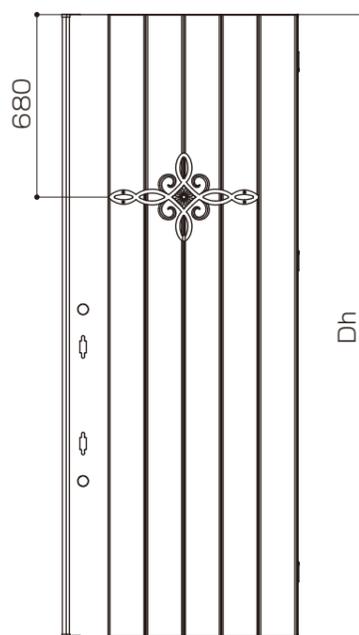
〈本体C〉



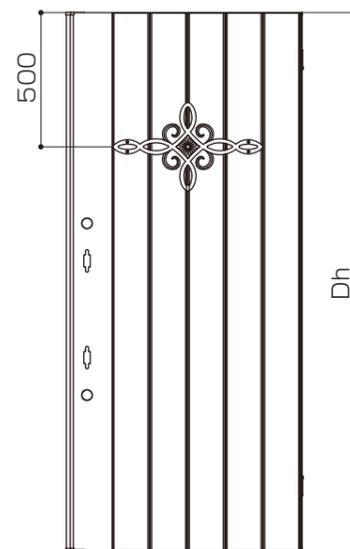
〈本体D〉

#### 【鋳物の取付け推奨位置】

高さ方向の推奨位置は、ドア本体の上端から680mm下がった位置になります。  
Dh≤2004の場合の推奨位置は、ドア本体の上端から500mm下がった位置になります。



Dh>2004の場合



Dh≤2004の場合

## ■取付け順序

### 1 取付け位置を決める

#### ①型紙の配置

ドア本体を水平に寝かせた状態にします。横方向については、型紙の端部の線を戸先側に一番近い縦モールの角に合わせて、型紙を広げます。

吊元側も縦モールの角に型紙の端部の線が合っていることを確認してください。

※ジエスタ本体A,Bの場合は、型紙の両端部の『線ア』(-----)を使用して合わせてください。

本体C,D場合は、型紙の両端部の『線イ』(————)を使用して合わせてください。

グランデル本体Aは、型紙の両端部の『線工』(-----)を使用して合わせてください。

高さ方向は、型紙に表記されている『基準線』を、『推奨位置』に合わせてください。

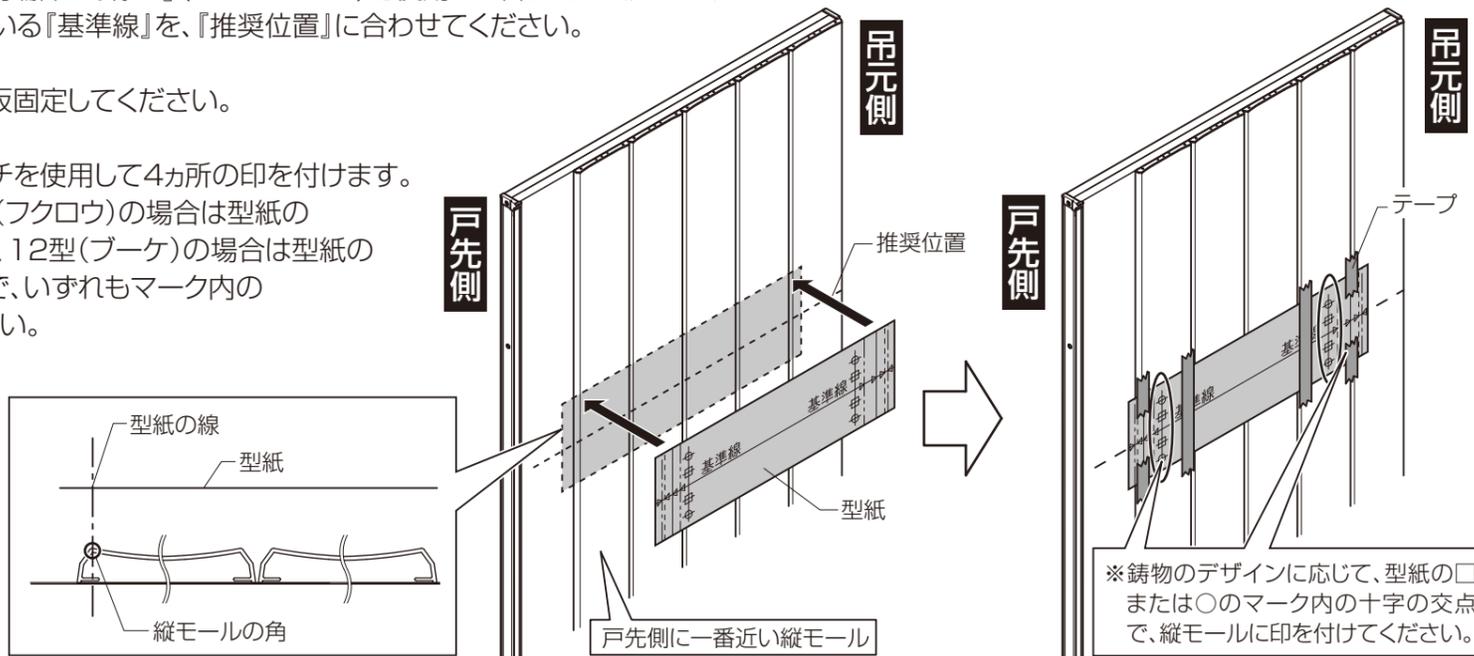
#### ②型紙の仮固定

①で配置した型紙を、テープで仮固定してください。

#### ③取付け位置のマーキング

型紙の上から縦モールに、ポンチを使用して4カ所の印を付けます。

鋳物が13型(ブローチ)、14型(フクロウ)の場合は型紙の□マークの4カ所、11型(唐草)、12型(ブーケ)の場合は型紙の○マークの4カ所になりますので、いずれもマーク内の十字の交点で印を付けてください。

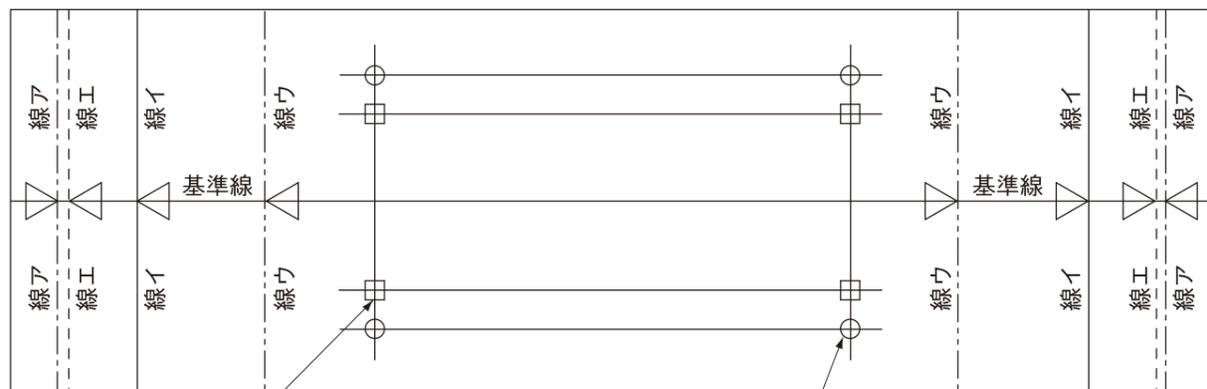


### 型紙の説明

※ジエスタ本体A,Bの場合は、型紙の両端部の『線ア』を使用します。

本体C,Dの場合は、型紙の両端部の『線イ』を使用します。

グランデル本体Aの場合は、型紙の両端部の『線工』を使用します。型紙の両端部の『線ウ』は使用しません。



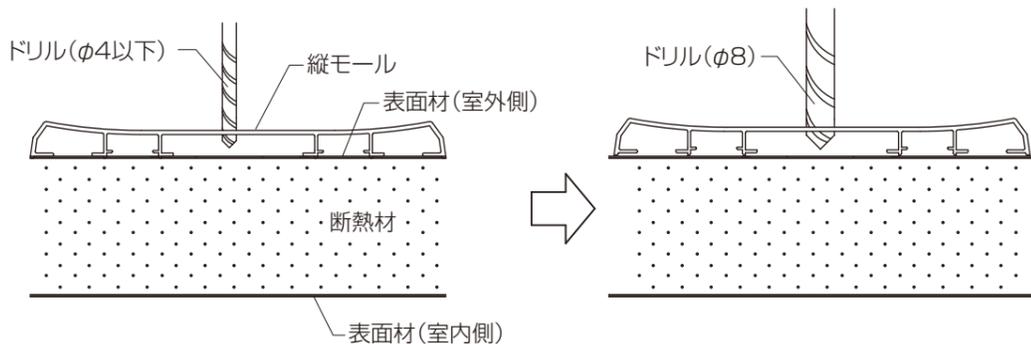
□ マークの4カ所  
※13型(ブローチ)、14型(フクロウ)の取付け位置

○ マークの4カ所  
※11型(唐草)、12型(ブーケ)の取付け位置

### 2 穴をあける

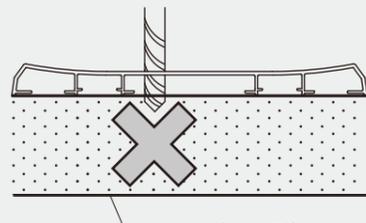
1で付けた4カ所の印に対して、縦モールにφ4以下のドリルで下穴をあけてください。次に同じ個所にφ8のドリルで穴をあけて仕上げてください。

※下穴をあける際に治具などを使ってドリルの刃が表面材(室外側)に当たらないように作業することを推奨いたします。



#### ▲ 注意

●ドリルで表面材(室外側)に穴をあけないようにしてください。玄関ドアの性能を損なう原因となります。



#### ▲ 注意

●ドア本体の縦モールに穴をあけるときは、φ8のドリルで仕上げてください。穴が大きいと鋳物が脱落する原因となります。

### 3 鋳物の取付け

加工した穴にウェルナットを差込み、鋳物をあてがい、ねじで鋳物を取付けてください。

※ねじを締める際は、鋳物でウェルナットを押さえてください。

※ねじを締付け難い場合には、ウェルナットを先に鋳物に軽くねじ止めし、加工穴にウェルナットを差込み締付けてください。

#### ▲ 注意

●鋳物をねじで固定する際、1.2~2N・m(12~20kgf・cm)のトルクで締付けてください。締付けがゆるいと鋳物が脱落する原因となり、締付けがきついとウェルナットが破損する原因となります。

